

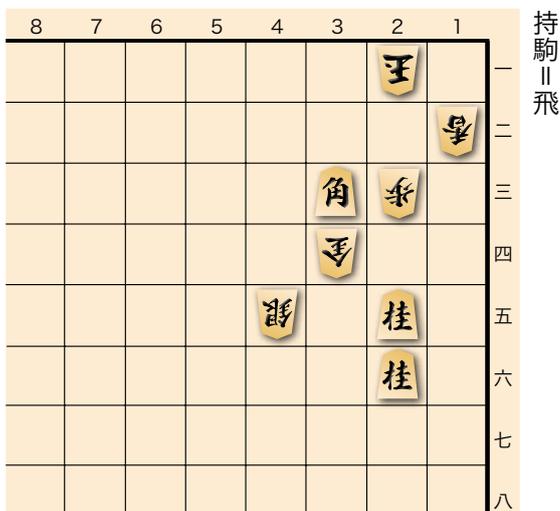
次の一手

答え合わせ

〈第29局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で初段)

ヒント 3手目がポイント



〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

▲ 2 二飛▽ 1 一玉▲ 1 二飛成▽ 同玉▲ 1 三桂成
▽ 同玉▲ 1 四香までの 7 手詰め。

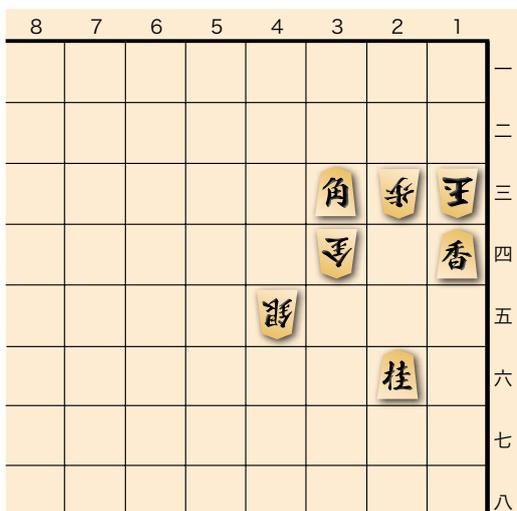
中田 功 (なかた・いさお)

1967年7月27日生まれ。福岡市出身。

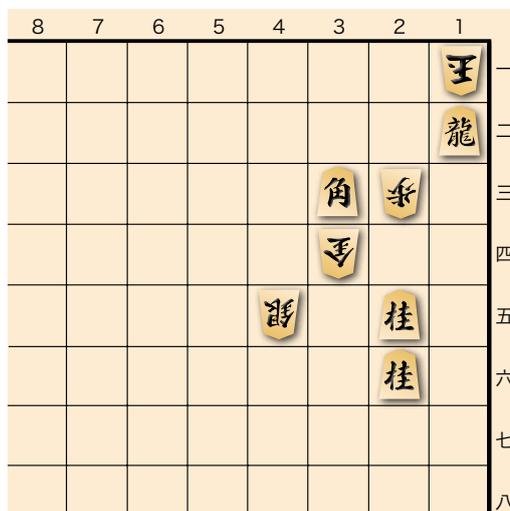
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



詰め上がり図



途中図 (▲1二飛成まで)

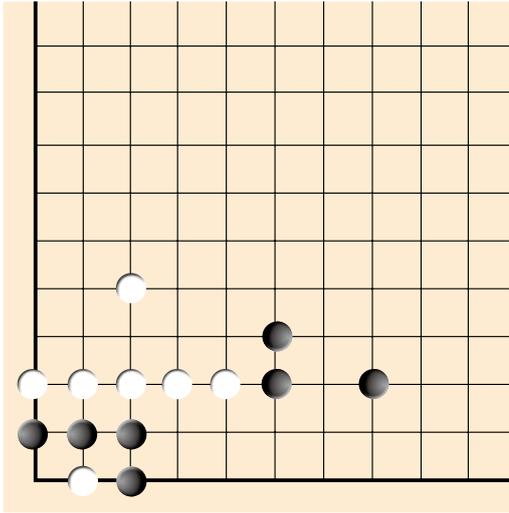


〈解説〉初手▲ 2 二飛が俗手で指しにくい。3手目▲ 1 二飛成(途中図)がまたまた俗手にみえるが、5手目の▲ 1 三桂成と連動した好手。

詰碁 問題 黒先黒活 (10分で初段)

ヒント

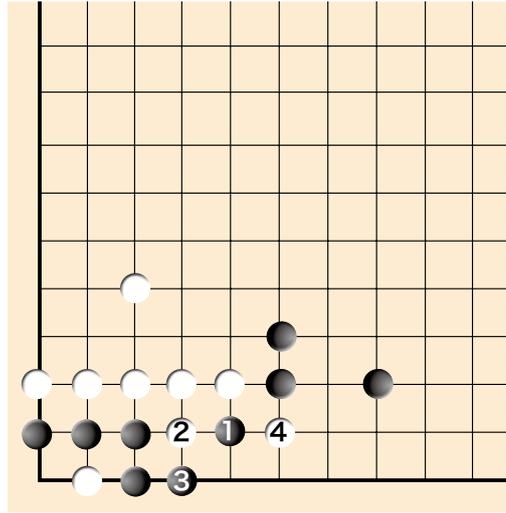
隅は一眼の憤死……ではありません!左右に橋をかける黒の一手は?白の最強の攻めは?初手に卓越した発想が必要です。



〈監修〉大淵盛人九段

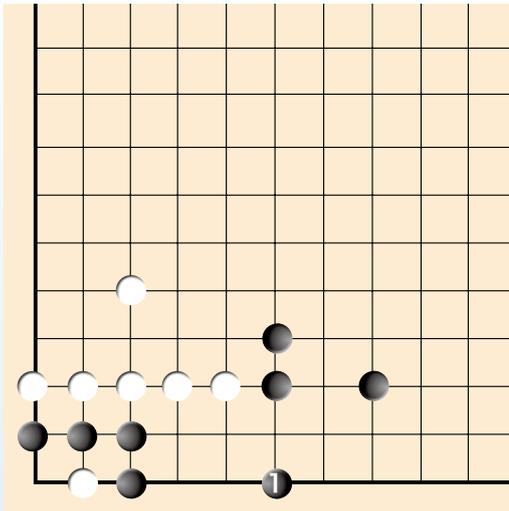
参考図

簡単そうでキツイのは、手数が短い黒四子に起因します。例えば黒1は、白2、4で瞬時にキュ〜。(続いて黒イには白口または白ハ)



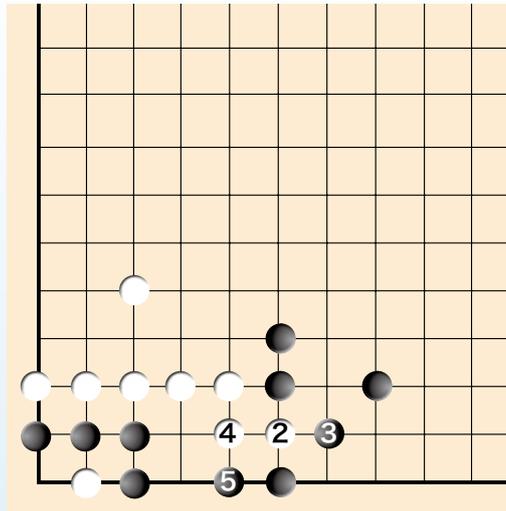
正解図① 丈夫な鉄橋を築く黒1

驚きの、しかしこれしかない黒1トビが正解。第一感で正解図黒1が閃いた方は、実力者。敬服します。



正解図② 最善に対応して生還

対して白も幻惑にかける、白2フリコミが最強手。そこで黒3が、冷静な唯一の受けです。白4に黒5で、揺るぎない立派な橋が完成しました。



大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

